

2016.4 — 2017.3
ARCHIVE of hacchi



hacchi

2016.4 — 2017.3

八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

目次

○館長あいさつ.....	1
○はっちについて	3
はっちのコンセプト・ミッション	4
はっちのまちなか効果・地域創造大賞受賞について	5
○はっちの自主事業	6
【中心市街地賑わい創出事業】	
イベント連携事業.....	7
ライブラリ事業.....	8
はっちのゴールデンウィーク	9
はっちのたなばた.....	11
はっちのクリスマス2016.....	12
はっちのお正月	14
はっちのひなまつり.....	16
【文化芸術活動支援事業】	
まちぐみ事業	17
八戸立体絵巻プロジェクト.....	18
アーティスト・イン・レジデンス事業	19
和日カフェ～日本文化に親しむ日～	20
酔っ払いに愛を2016～横丁オンリーユーシアター～	23
パフォーミングアーツ振興事業	24
第五回はちのへ演劇祭.....	25
【ものづくり支援事業】	
ものづくりスタジオ	26
はっち市2016～はっちがちっちゃな街になる～	27
ものづくり支援事業	29
【観光振興・FMアクセス事業】	
お祭りin はっち(八戸三社大祭関連事業).....	30
えんぶりin はっち	31
是川時空探検祭！	32
市民学芸員・はっち特派員・はっちサポーター	33
【市民活動支援事業】	
ストリート投げ銭ライブ、ベヒシュタイン・ピアノリレーコンサート	34
はっちがずっぱど南部弁.....	35
第4回八戸市民ロボコン	36
○ボランティアガイド	37
○情報発信事業.....	38
○貸館事業.....	39
○こどもはっち.....	41
○2016年度 はっちの自主事業一覧.....	43
○はっちの年表	44



2016年度を振り返って

八戸ポータルミュージアム 館長

この度、八戸ポータルミュージアムが2016年度に取り組んだ自主事業のアーカイブを取りまとめました。

2016年度は、「はっち市」や「和日カフェ」、「酔っ払いに愛を」といった開館当初から実施している恒例イベントに加え、2017年度の市制施行88周年に向けた取り組みとして、新たに「八戸立体絵巻プロジェクト」を実施いたしました。

八戸の海や山、まちなど、それぞれの地域の中で先人たちが連綿と受け継いできた暮らしや生業、繁栄や衰退といった、まちの成り立ちや人々の生きざまを、市民の手で88編のストーリーとして残すプロジェクト。

地域の魅力を語る人、物語として残す人、いずれも市民がその役割を担う今回の事業は、「ひとがまちを想い、ひとがまちを動かすプロジェクト」として、市民力で作り上げる「はっち」ならではの取り組みでした。

とは言え、今回のアーカイブに掲載している「はっち」の自主事業や取り組みは、昨年度「はっち」が作り出した賑わいのほんの一部に過ぎません。

なぜなら、「はっち」の賑わいを作り出しているのは、ここに紹介している自主事業だけではないからです。

日頃の活動の様子を発表してくださる団体の方々、熱心に勉強に勤しむ高校生の皆さん、こどもはっちに響き渡る歓声など、さまざまな立場で利用されるたくさんの市民の皆さんの活動そのものが、はっちの賑わいを作り出しているということを日々実感させられます。

お陰を持ちまして、「はっち」の取り組みが評価され、平成29年1月には「地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞いたしました。

創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに功績のあった公立文化施設を顕彰する同賞を受賞したことに、日頃から御利用いただいている皆様に改めて感謝申し上げますとともに、開館以来一貫して、「まちを元気にしたい」という想いで地域に寄り添い、市民の皆様とともに歩んできた「はっち」の取り組みやコンセプトが、新たなまちづくりの手法として評価されたものと大変誇らしく思います。

「はっち」の目的である中心市街地の活性化は、依然として厳しい状況が続いておりますが、2018年度に開館を予定している「（仮称）マチニワ」との連携など、これまで以上に「はっちらしさ」を追求することで、一層魅力的な中心市街地を目指すとともに、更には八戸の元気、シビックプライドの醸成に向けて、スタッフ一同取り組んで参りますので、引き続き、皆様の御協力をお願いいたします。



はっちは「ソウゾウ開化」のために生まれました。

「ソウゾウ」と聞いて何を思い浮かべますか。

アートであったりデザインであったりするかもしれません。

「ソウゾウ」とは、まちやひとを想う視点を変えてみることであり、

その「本質」を育てる取り組みであると考えます。

「本質」を育てると何になるでしょう。

「本質」が大きく育つと「ブランド」と呼ばれてきます。

まちのシンボルとなる「ブランド」は、「ひと」の絆を育んでいきます。

では「本質」はどこにあるのでしょうか。

一見関係もなさそうな身近なところに、実はそっと存在しています。

あまりにも距離が近すぎるために、見落としているだけではないでしょうか。

その見落としている「本質」を探しだすこと、

そのために、ちょっと今までとは違う視点で見てみることに、

そして、その具体的な活動が「ソウゾウ」であり、

そういう場や機会をつくることです。

はっちの役割＝『ソウゾウ開化』だと考えています。

名称とシンボルマークがあらわすもの

公募から生まれた愛称「はっち」

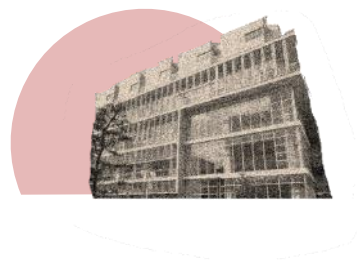
「はっち」という愛称は、公募から生まれました。八戸の「はち」から派生した「はっち」であり、市民にとって最も身近な言葉の一つでもあります。また、英語で卵の孵化や出入口などを意味する「hatch」にもちなんで名づけられました。さらに、着地型観光ならぬ、ここから市内各地に送り出す発地（はっち）型観光の意味もあります。

正式名称が示す施設の機能

正式名称「八戸ポータルミュージアム」は、来館者が観光などのために、実際の八戸に足を踏み出す玄関（入口＝ポータル）としての機能を担う施設であるとともに、市民の創造活動の拠点として、その本質に触れることができる博物館（＝ミュージアム）のような機能を担う施設であるという意味が込められています。

地域の特徴を表現したシンボルマーク

シンボルマークは、デザイナーの古平正義氏により、数字の8をモチーフとしてデザインされたものです。八戸は南部地域の一戸から九戸までの数字を冠するまちに囲まれ、また「はっち」も中心市街地の市日を表す三日町という町の中にあるなど、数字の地名が多い八戸の地域的な特徴を表しています。



フィールドミュージアムとポータルミュージアム

八戸を「屋根のない大きな博物館」と見立てたフィールドミュージアム八戸は、観光資源を、まち・渚・田園・祭・歴史文化・食彩・産業・物産の8つのテーマでわかりやすく紹介しています。「はっち」ではこれらの魅力をコンパクトに集め、実際の八戸へと誘う玄関としての役目を担います。さあ、「はっち」からそれぞれのミュージアムへでかけよう！

8へのこだわり

「8」を中心としたシンボルマークは、八戸が南部地域の「一戸」から「九戸」に囲まれている特徴を表しています。また、はっちでは、八角形の中庭、8個の展示屋台、からくり獅子舞仕掛時計の8つの頭など末広がり縁起のいい「8」にこだわり取り組みました。そして、1周年記念セレモニーのその日、なんと88,888人目の入館者を迎えたのです。

事業のコンセプト

「はっち」は地域の資源を大事に想いながら、新しい魅力を生み出していくところです。地域の資源を大事にすること、市民と協働すること、まちなかに回遊することを意識し、3つの事業を行っています。

会場所 づくり

誰でも気軽に立ち寄れる場、人が集いコミュニケーションが生まれる場、地域の文化に触れられる場をつくります。

- ・こどもはっち
- ・はっちひろば
- ・リビング
- ・カフェ、ショップ ほか

貸館 事業

創作活動をサポートする施設の貸し出しをします。

- ・シアター
- ・ギャラリー
- ・各種スタジオ
- ・レジデンス ほか

自主 事業

地域の資源を活かした事業のプロデュースにより新しい価値を創造するため、4つの柱に基づいた事業を展開します。

- ・中心市街地賑わい創出事業
- ・文化芸術活動支援事業
- ・ものづくり支援事業
- ・観光振興・FM（フィールドミュージアム）アクセス事業

展示のコンセプト

八戸の見どころや魅力を、市民作家や市民学芸員の作品を通してわかりやすく紹介し、ここからまちなかや観光地に誘う玄関口としての展示がコンセプトです。

また、「はっち」館内は展覧会や発表会、練習などで活動している元気な市民の姿や、読書や憩いの場としてゆったりとした時間を過ごす姿、八戸弁でおしゃべりをしている素のままの市民の姿も含め、まるごと八戸が感じられる施設です。市民にとっては、八戸の魅力を再認識し誇りに思う場、観光客にとっては八戸に来たら必ず寄ってみたい場となります。

建築のコンセプト

「はっち」は八角形の中庭を中心に、八戸の中心街の特徴である路地や横丁のような回廊、広場のような空間があります。八戸の魅力を発見しながら、各所で観覧や活動、ショッピングや飲食、休憩を楽しめる立体的なまちとして造られています。

はっちのミッション

「はっち」はまちを元気に、ひとを元気にします。

市民とつくる事業、産業、観光振興のためのクリエイティブな事業、そして、そこに集まる人々のコミュニケーションがまちを動かす力を生み出していきます。

- 八戸のやる気をさらに引き出します。
- まちの連帯感をつくります。
- ほしいものがあるまちにします。
- 歩きたくなるまちにします。
- 八戸資源を再発見するきっかけをつくります。
- 八戸流の情報発信をします。
- 子どもからお年寄りまで共に育てあう場をつくります。
- 新しい価値と表現を生み出す場をつくります。

はっちのまちなか効果・地域創造大賞受賞について

これからも、はっちに集い、繋がり、輪が広がる

「はっち」では、2011年の開館以来、地域資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出すことを念頭に置き、誰もが気軽に集いコミュニケーションが生まれる「会場所づくり」、多様な市民活動の場として施設利用の促進を図る「貸館事業」、そして積極的にまちの活性化の目標を追求するための「自主事業」を市民と一体となって展開してきた。館の運営を支える館内ボランティアガイドや、自主事業でのイベントボランティアガイドに参加する市民の支えもあり、2016年6月に延べ入館者数が500万人を突破するなど、依然として年間90万人前後の多くの入館者で賑わっている。



また、中心市街地の空き店舗・空き地率も大幅に改善され、中心街の新規開設店舗・事業所数は開館した2011年2月から2014年8月までの累計で131件にのぼっている。2016年には、7月のガーデンテラスオープンや9月の花小路開通、12月には八戸ブックセンターがオープンするなど、民間も含めた再開発の動きが目に見えてきて、中心街の活気に繋がっている。

これらの取り組みが評価され、2016年には地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績があった公立文化施設を顕彰する「地域創造大賞（総務大臣賞）」の平成28年度受賞施設に選ばれた。

はっちのまちなか効果を持続・発展させるためにも、これまで以上に地域に寄り添い、新しい考え方や手法を用いて「はっち流」に、市民のアイディアや意欲を支える取り組みを推進し、今後も八戸の文化発信・創造拠点としての役割を果たしていきたいと考えている。



はっちの自主事業

「はっち」は「地域の資源を大事に想うこと」、「市民と協働で行うこと」、「まちなかに回遊させること」をコンセプトに、以下の4つの基本方針に基づいて、分野横断的に事業を展開している。また、市民ひとりひとりが多様な形で参加し、市民が主役になれる仕組みを設けており、地域資源の掘り起こしやシビックプライドの醸成、コミュニケーションの再構築につながるあらゆる取り組みが、市民の手によって日常的に行われている。

「はっち」では、これからもたくさんの市民に関わっていただきながら、まちの歴史や文化を大事に想いつつ、これまでとは異なる視点からまちの魅力や地域の宝に光を当てるような自主事業を実施していく。

中心市街地
賑わい創出
事業

文化芸術
活動支援
事業

ものづくり
支援事業

観光振興
・FMアクセス
事業





中心市街地
賑わい創出
事業

イベント連携事業

はっちのお店は、まちなかイベント
とともに中心街を盛り上げます！



5月～10月(7・9月除く)の最終日曜日に開催されるはちのへホコテンや七夕まつり、八戸三社大祭など中心市街地が歩行者天国になる際は、食のものづくりスタジオを中心に、館外に出店。

出店時には各店舗でイベント限定の商品を用意。立ち寄る方々が多くいらっやったことで、まちなかイベントとともに中心街を盛り上げた。

○実施日

- ・はちのへホコテン: 5月～10月(7月を除く)最終日曜日 ※5月は中止
2016年6月26日、8月28日、9月25日、10月30日
- ・八戸七夕まつり: 2016年7月15日(金)～7月18日(月・祝)
- ・八戸三社大祭: 2016年7月31日(日)～8月4日(木)

○協力: 八戸中心商店街連絡協議会 はちのへホコテン実行委員会



この日限定の特別フードメニューやイベント限定商品でまちなかイベントを盛り上げる



中心市街地
賑わい創出
事業

ライブラリ事業

本を楽しむ・本に親しみ・
本が好きになる
はっちのライブラリ

はっち2～4階に設置されているライブラリ。4階ライブラリでは、月毎にテーマを決めて選書した「月例特集」を実施。

第3回「はっちの一箱古本市」では、古本市のほか、八戸ブックセンター職員によるトークイベントや市内団体による朗読会、読み聞かせ講習会などを実施した。

■各フロアのライブラリテーマ(通年)

- 2階:「八戸を知る・日本を知る」
- 3階:「地元の文学者を知る・深める」
- 4階:「アートやデザイン、食やものづくり、画集、雑誌」

■4階ライブラリの月例特集テーマ

- 4月 縄文文化特集
- 5月 写真はお好きですか？
- 6月 知らない町へ出かけよう
- 7月 アート作品特集
- 8月 アウトドア特集
- 9月 本を楽しむ本
- 10月 お酒特集
- 11月 ものづくり・デザイン
- 12月 絵本を楽しむ
- 1月 キラキラ光るもの
- 2月 プリント特集
- 3月 東日本大震災特集

■はっちの一箱古本市

- ・実施日:2016年9月24日(土)
- ・参加者数:出店者17組 来場者約300名
- ・内容:出店者が個性的なラインナップの書籍を一箱分持ち寄って販売。日本の伝統製本技術「和とじ」によるメモ帳作り体験のほか、館内ものづくりスタジオが革のしおり作りや、本に出てくる香り作りのワークショップのほか、本のイベントに関連した特別メニューを販売。また、三浦哲郎・宮沢賢治・村次郎作品の朗読会や読み聞かせ講習会、絵本展を開催した。そのほか、市が推進している「本のまち八戸」関連事業のパネル展示や八戸ブックセンター職員によるトークイベントも実施。

■写真集の楽しみ方を探る雑談会

- ・日時:毎月不定期開催
- ・参加者数:1回平均約10名
- ・内容:主に4階ライブラリにある写真集の中から、参加者が興味を持った1冊をそれぞれ選び鑑賞、後に感想を述べ合う会。



大人気！和とじ製本ワークショップ



ものづくりスタジオによる本に関するワークショップを実施



自分の気になる写真について語り合います

はっちのゴールデンウィーク

音楽ライブ、スポーツ、オリジナル料理
企画などGWにピッタリなイベントで
染まった黄金週間



スポーツ吹き矢で狙いを定めてエイ！

例年開催の市民と花のカーニバルは熊本地震による市内自衛隊員の派遣等により中止となったものの、GWに相応しいプログラムを多数開催。八戸にゆかりのあるミュージシャンのライブやニュースポーツ体験など、バラエティ豊かなイベントとなりました。

■ 虎舞水飲み場オープニング2016

番町スクエアの虎舞水飲み場の再開に伴い、はっちのGWイベントのプレ事業として柏崎小学校バトン部と左比代虎舞の演舞のステージイベントを開催。

- ・実施日：2016年4月23日(土)
- ・来場者数：約100名
- ・実施：八戸圏域水道企業団
- ・出演：左比代虎舞、柏崎小学校バトン部

■ Marché × Buy はちのへ

ショッピングが楽しめる小粋なマルシェ(市場)が登場。市民と花のカーニバルと連動した自衛隊員によるステージイベントを開催する予定だったが、熊本地震のため多くの隊員が現地へ派遣されていることから、カーニバルは中止となった。

- ・実施日：2016年4月29日(金・祝)
- ・当日入館者数：7,081名
- ・実施：八戸商工会議所

■ 葉っぱとパステルのヒーリングアート展

パステルや色鉛筆のやさしい色調の中に葉っぱを使って情景を描いた絵画を展示。

- ・期間：2016年4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝)
- ・実施：高橋伸治

■ かおりのかたち、ことばのいろ

1月～12月の各月をイメージした12種のブレンドアロマの展示やリクエストに応じたアロマテラピー体験。自分の好きな季節をイメージし、精油を自由に組み合わせ、色と香りのルームフレグランスを作成するワークショップを開催。

- ・期間：2016年4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝)
- ・実施：かわいいアロマひつじや
- ・料金：アロマテラピー体験 500 円、ワークショップ 1,000 円

■ Rock&Gospel コンサート

青森県内で活動するアマチュアグループによる、Superfly のカバーなどのウーフル(Rock)、M's(ゴスペルコーラス)の2部構成のコンサート。

- ・実施日：2016年4月30日(土)
- ・出演：ウーフル、M's
- ・入場者数：約30名

■ ニュースポーツフェスティバル in はっち

大人だけでなく子どもも気軽に楽しめるニュースポーツ(8種目)を紹介しながら体験してもらい、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ習慣の育成を図った。

- ・実施日：2016年4月30日(土)
- ・当日入館者数：5,937名
- ・実施：八戸市レクリエーション協会



八戸圏域水道企業団との共催により実施した
虎舞水飲み場オープン



県内で活躍するアマチュアゴスペルグループによる
コンサートを開催



かわいいアロマひつじやさんによるリクエストに応じた
アロマテラピー体験

■篠笛山口流演奏会

篠笛で春に相応しい曲を中心にいろいろなジャンルの曲を演奏。

- ・実施日：2016年5月1日(日)
- ・参加者数：50名
- ・出演：篠笛山口流

■下平勇逸(しもだいらゆういつ)ピアノソロコンサート

クラシック(ショパン、ベートーベン等)のピアノソロコンサートを開催。ほぼ満席となった。

- ・実施日：2016年5月1日(日)
- ・参加者数：80名
- ・出演：下平音楽事務所

■オリジナルのGWピザを作ろう

天然酵母のピザ生地にお好みの具を乗せて、GW行楽シーズンにピッタリなオリジナルのピザを作る料理教室を開催。

- ・期間：2016年5月3日(火・祝)・5月4日(水・祝)
- ・参加者数：32名
- ・実施：very berry +
- ・料金：500円

■【緊急企画】シンガーソングライター大木ハルミsakura キャッチキャッチライブ！

2016年2月の閉館ソング「sakura」を歌っていたシンガーソングライター大木ハルミによるライブ。

- ・期間：2016年5月3日(火・祝)・5月4日(水・祝)
- ・参加者数：150名
- ・出演：大木ハルミ

■木工オブジェを作ろう

木の板をカットしたパーツをボンドで接着し組み立て、自分好みのオリジナル木工オブジェを作るワークショップ。

- ・期間：2016年5月3日(火・祝)～5月5日(木・祝)
- ・参加者数：109名
- ・実施：工作工房
- ・参加費：300円

■ニューアルバムUNDA(ウンダ)発売記念

類家心平5ピースバンドライブ

ニューアルバムUNDA発売記念として八戸市出身のジャズトランペッター類家心平が自身のバンドを引き連れ、全国ツアーの八戸公演としてライブを開催。

- ・実施日：2016年5月4日(水・祝)
- ・参加者数：77名
- ・出演：類家心平5ピースバンド
- ・料金：前売3,000円 当日3,500円

■こどもの日パフェ作り

こどもの日に合わせ、パフェにアイス・フルーツソース・クリーム・鯉のぼりクッキーなどを自由に盛り付けるワークショップを開催。

- ・実施日：2016年5月5日(木・祝)
- ・参加者数：16名
- ・主催：very berry +
- ・料金：500円

■親子うどんかい

赤ちゃんによるハイハイレースやパン食い競争など親子で参加できる運動会を開催。

- ・実施日：2016年5月5日(木・祝)
- ・参加者数：150名
- ・主催：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

■こどもの日には異文化体験【アリスのTEAパーティ】

こどもの日に紅茶を飲みながら異文化体験。紅茶の淹れ方の基本を実習しながらレッスンを受けた。不思議の国のアリスをテーマとしたTEAパーティを開催。

- ・実施日：2016年5月5日(木・祝)
- ・参加者数：12名
- ・主催：ていーらんぷ
- ・料金：1,500円 小学生以下500円



篠笛で花や春らしいをテーマにした曲を披露



親子でGWにぴったりなオリジナルピザ作り



集中して木工オブジェ作りに挑戦



シンガーソングライター大木ハルミが駆けつけ急遽ライブを開催



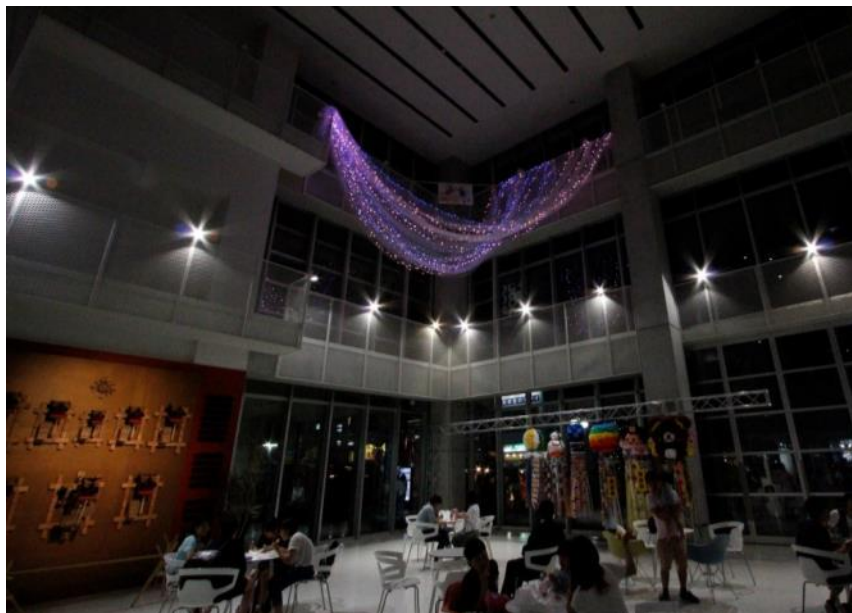
ニューアルバムUNDA(ウンダ)を引っさげはっちに登場の当市出身の類家心平



運動会の前には、家族揃ってラジオ体操

はっちのたなばた

夏の風物詩である七夕を
「はっち」流企画で開催！
みなさまの願いが叶いますように



大きな竹に願いごとをしたため短冊で特別な想いを結ぶ願掛けも恒例となり、音楽ライブ・お茶会・ブイヤベースフェスタ・こどもはっち夏祭りなど、七夕にちなんだプログラムを盛りだくさんな内容で展開。大勢の来館者が訪れた。

■はっちの市民たんざく

館内ショップ利用者へ短冊を配布し竹に飾って展示。

- ・期間：2016年7月1日（金）～7月18日（月・祝）
- ・協力：はっち館内ものづくりスタジオ
- ・参加者：403名

■はっちのミルキーウェイ

はっちひろばの上空に、イルミネーションによるミルキーウェイ（天の川）を演出。

- ・期間：2016年7月1日（金）～7月18日（月・祝）

■七夕ライブ in はっち vol.Ⅲ

七夕にちなんだ7組のバンドのライブ演奏。

- ・実施日：2016年7月9日（土）
- ・出演：サタンオールスターズほか
- ・入場者数：約120名
- ・入場料：500円（高校生以下無料）

■8（はっち）★7（七夕）★6（ロック）～天の川にかける橋～

はっち・七夕・ロックとゴロを合わせ5組のバンドライブ演奏。

- ・実施日：2016年7月10日（日）
- ・出演：ウルフル2、ウーフルほか
- ・参加者数：約120名
- ・入場料：500円（高校生以下無料）

■たなばた茶会

八戸七夕まつりの日、夕涼みをしながら一服を楽しめる茶会の開催。

- ・実施日：2016年7月16日（土）
- ・共催：茶道裏千家淡交会 青森青年部
- ・参加者数：約300名
- ・お茶券：300円

■夏のブイヤベース in はっち2016

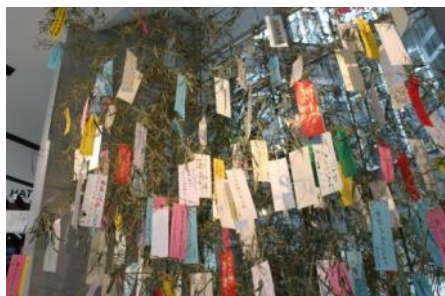
八戸を代表するシェフがはっちひろばに集合し、七夕に特別な合作ブイヤベースを2日間限定で提供。また、音楽やパフォーマンスで演出。

- ・期間：2016年7月16日（土）・17日（日）
- ・主催：八戸ハマリレーションプロジェクト
- ・参加者数：約1,000名
- ・料金：800円 2日間計1,000食

■まるごとこどもはっち夏まつり

はっちの1階～5階を使用し、ステージイベント・ものづくり体験・スタンプラリーなど、親子で楽しめるイベントを開催。

- ・実施日：2016年7月18日（月・祝）
- ・主催：NPO法人はちのへ未来ネット（こどもはっち）
- ・参加者数：約350名



来館者の願いをこめた短冊たち



ブイヤベースをもとめ館外まで行列ができる



たくさんの親子連れで賑わった「まるごとこどもはっち夏まつり」



中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのクリスマス2016

見て、聴いて、食べて！
盛りだくさんのはっちのクリスマス

11月末に始まる八戸いちごマルシェ＆菓子まつりを皮切りに約一か月に渡りたくさんのイベントを開催。今年の外壁イルミネーションは八幡馬を取り入れ、こどもたちと市長と一緒にツリー点灯の瞬間に立ちあった。

■八戸いちごマルシェ×菓子まつり

八戸いちごのデコレーションケーキ作りやスイーツバイキング、販売コーナーなどお菓子といちごに囲まれた2日間。

・期間：2016年11月26日（土）、27日（日）

・主催：八戸菓子商工業組合、八戸商工会議所、八戸市農業経営振興センター

・入場者：約7,000名（2日間の入館者数）

■クリスマスイルミネーション&クリスマスツリー展示

毎年恒例となったクリスマスツリーと、2016年は八幡馬をモチーフとした外壁イルミネーションを実施。

・期間：2016年11月26日（土）～12月25日（日）

■レトロゲームコレクション展 2D or not 3D

～ツージーカスリーディーかそれがもんだいだ～

レトロゲームやゲーム中の3D表現をテーマに展示を開催。プロジェクターを使用した超大画面ゲーム体験も実施。

・期間：2016年12月2日（金）～12月4日（日）

・実施：RFユニット

・参加者：約1,000名

■南郷の洋食屋さん「ナンゴーニュ」に教えてもらう

クリスマス料理教室

南郷に洋食店をかまえる「ナンゴーニュ」のシェフを講師にむかえ料理教室を開催。チキンと魚介のクリームシチューやクレープを調理。

・実施日：2016年12月4日（日）

・講師：ナンゴーニュ 長瀬 光司

・参加者：21名（2回開催）

・参加料：1,000円（材料費込み）

■コスプレイヤーズ・レビュー

市内で活動しているコスプレイヤーによる歌・踊り・寸劇などを取り入れたパフォーマンスライブ。

・実施日：2016年12月18日（日）

・参加者数：約100名

・実施：コスプレイヤーズ実行委員会



八戸いちごを使ったケーキも並ぶスイーツバイキング



超大画面ゲームに大人もこどもも夢中！



プロの料理人から教わる料理教室に参加者も真剣そのもの

■あなたに贈る写真展

デーリー東北カメラ女子部による「贈りもの」をテーマにした写真展。
初日にはメンバーによるオープニングフリートークも開催。

・期間:2016年12月20日(火)~12月25日(日)

・参加者:約500名

・実施、協力:デーリー東北新聞社

【オープニングトーク】

・実施日:2016年12月20日(火)



市内のコスプレイヤーが集合し、パフォーマンスライブを開催

■クリスマス3days ライブショー

3日間計7組による、ゴスペルやピアノの弾き語りなどクリスマスにぴったりのさまざまなライブを実施。

・期間:2016年12月23日(金・祝)~12月25日(日)

・入場者数:約500名

・出演:23日(金・祝)ゴスパズ、榎本志之子・小林友子

24日(土)イメルダ幼稚園、岡山美津子、ケビン・メッツ社中

25日(日)泉彩菜&メゴイチ(詩:山本裕美)、加賀 JF バンド



「贈りもの」をテーマに女性らしさが感じられる写真展

■輝くビー玉の世界(マープルアート)

ビー玉をワイヤーでホルドして製作するマープルアート作品展を開催。雪の結晶とクリスマスリース作りのワークショップも開催。

・期間:2016年12月1日(木)~12月4日(日)

・実施:いしとや久美子

【ワークショップ】

・参加者数:122名

・体験料:500円(雪の結晶)、1,500円(クリスマスリース)



ゴスパズほか複数の団体によるクリスマスライブショーを開催

■クリスマスパンケーキ作り

親子で参加のクリスマスパンケーキ作り教室。

・期間:2016年12月23日(金・祝)・12月24日(土)

・講師:very berry +

・参加者数:22名

・参加料:800円

■高橋みのるからくりアート展2016

はっち1階「からくり獅子舞仕掛時計」を制作した高橋みのるによる、2016年の新作を含むからくり約30作品を展示。

・期間:2016年12月20日(火)~12月25日(日)

・参加者数:2,350名

・実施:からくり工房 工遊館 高橋みのる



八戸では初展示となるマープルアート作品



新作のからくりを含むからくり作品展を開催



たくさんの親子連れで賑わったパンケーキ作り体験



中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのお正月

書道パフォーマンス、
スポーツなど多彩なイベントで
新春のお祝いを盛大に！

新年にふさわしく、新春を祝う民謡・手踊りや、八戸スポーツチーム合同イベントを開催し、無病息災に願いを込めた法霊神楽一斉歯打ちでは、多くの来館者が詰め掛け、お正月一色に染まった。

■新春書道ガールズパフォーマンス

八戸東高校書道部による、お正月恒例の書道パフォーマンス。ダンスパフォーマンスを行いながら、新年にふさわしいメッセージをしたためた2作品を制作。

- ・実施日：2017年1月2日(月・休)
- ・出演：青森県立八戸東高等学校書道部
- ・入場者：約200名

■八戸スポーツチーム新春フェス

東北フリーブレイズ、ヴァンラーレ八戸、青森ワッツの地域スポーツチームの選手によるアトラクション対決・マスコットパフォーマンスなどを開催。

- ・実施日：2017年1月2日(月・休)
- ・実施：八戸スポーツ振興協議会
- ・入場者：約150名

■靄神社法霊神楽保存会・一斉歯打ち

新春に無病息災の願いを込め、靄神社法霊神楽一斉歯打ちを行った。はっちを起点に中心街を一周し、終了時にも締めの一斉歯打ちを行った。

- ・実施日：2017年1月2日(月・休)
- ・出演：靄神社法霊神楽保存会
- ・参加者：約200名



八戸東高校書道部が新年の願いを込めて書いた「迎春」



八戸スポーツチーム対抗戦で行われたアトラクション対決

■はっちのお正月に民謡一座がやってきた

小坂勝義と小柴社中一座がお正月にふさわしい、おめでたい唄と踊り計7曲を披露。

- ・実施日：2017年1月2日(月・休)
- ・出演：小坂勝義・小柴社中一座
- ・参加者：約150名



新春にふさわしいめでたい唄と踊りで楽しませた小坂勝義と小柴社中

■南部のさとちゃんこと、瀬川さとしの爆笑トーク炸裂！

県内外で活躍する南部のさとちゃんこと、瀬川さとしによる新春にちなんだ話題や方言満載トーク(漫談)を実施し、初笑いを呼んだ。

- ・実施日：2017年1月2日(月・休)
- ・出演：瀬川さとし
- ・参加者：約100名



新春初笑いを呼んだ、南部のさとちゃんの爆笑トーク

■中心商店街初売り共同イベント「お汁粉(缶)振る舞い」

中心商店街の初売りイベントの一環として、はっちや中心街で「お汁粉(缶)振る舞い」を実施。はっちでは200食分を振る舞った。

- ・実施日：2017年1月2日(月・休)
- ・主催：八戸中心商店街連絡協議会
- ・参加者：約200名

■ちび展2017 —comcerto(コンチェルト)—

市民作家ミニチュア工房ちびつつ@による、昔なつかしい洋菓子店・パン屋さんをモチーフとしたミニチュアのお菓子やスイーツの展示。展示期間中は、会場にミニチュア工房ちびつつ@が常駐し、ミニチュア作品の制作実演も実施。

- ・期間：2017年1月2日(月・休)～1月9日(月・祝)
- ・実施：ミニチュア工房ちびつつ@



八戸で昔から営業を続けている洋菓子店・パン屋さんのミニチュアを展示。お菓子やスイーツの制作実演も実施。

■つり雛飾り～松坂つやとすてきな仲間たち～

お正月にふさわしいつり雛飾りをはっちコートに展示。つり雛作成ワークショップも開催。

- ・期間：2017年1月2日(月・休)～1月15日(日)
- ・実施：キルトハウス TAKU(松坂つや)

【ワークショップ】

- ・期間：2017年1月14日(土)～1月15日(日)
- ・参加者数：37名
- ・体験料：500円



無病息災やこどもの健やかな成長を祈るなど一つひとつに意味のあるつり雛飾り。



期間中に開催したつり雛作りワークショップでは、多くのお客様が体験。

中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのひなまつり

春の訪れが待ち遠しい。
体験型イベントで春を迎える
準備をしましょ。



福福しいお内裏様とお雛様

女の子の健やかな成長を願ってひな人形を飾り、ひしもちや白酒、桃の花を供える「桃の節句」ひなまつり。はっちの中にもひな人形を飾り、節句の意味を感じ取れるように、現代版にアレンジした体験型イベントを開催した。

■ひなまつり料理教室

ひなまつりの定番「ちらし寿司」「蛤のお吸い物」といった、王道最強レシピの料理教室。

- ・実施日：2017年2月26日（日）
- ・参加者：16名
- ・講師：林料理学校
- ・参加料：1,000円



完成。ちらし寿司と蛤のお吸い物

■カラダの中からキレイになろう！

～飲む美容液「麴玄米あま酒セミナー」～

驚愕の麴パワーのことを学びながら、試飲やスイーツの試食とお土産付の女子力アップセミナー。

- ・実施日：2017年2月26日（日）
- ・参加者：10名
- ・講師：たまに庵の一ぼ
- ・参加料：600円



真剣・集中。みんなでチクチクお針仕事

■うさぎのおひなさま作り体験

好きな生地を選んで、自分だけのオリジナルおひなさまを作るワークショップ。

- ・実施日：2017年2月26日（日）
- ・参加者：8名
- ・講師：菜膳わたすげ 山本康子
- ・参加料：1,000円

■抹茶コーナー

ひなまつりにちなんだ和菓子をお好みのお茶碗で薄茶がいただけるコーナー。

- ・実施日：2017年2月26日（日）
- ・参加者：100名
- ・実施：tea&tea
- ・参加料：300円



お雛様がいっぱい。どのお茶碗でいただこうかな？



文化芸術
活動支援
事業

まちぐみ事業

市民の「やってみたい！」をサポートし、
中心商店街にワクワク感とまち歩きが楽しくなる
仕掛けを目に見える形で作る「まちぐみ」。

アーティストの山本耕一郎組長がプロデュースし、八戸で暮らす人々の「やってみたい！」を“まちぐるみ”でサポートしてカタチにする市民集団「まちぐみ」。まちぐみの拠点がある八戸市十八日町で実施した「十八日の市」では、180円、1,800円…と、目玉商品の金額を「18」の数字にかけるなど、思いがけないアイデアで八戸のまちをちょとずつ楽しくするプロジェクトを進行。

■まちぐみリノベーション店舗

中心商店街2店舗のリノベーション、暖簾の縫製作業や「まちのうわさ」ふきだしの設置などさまざまな作業を、山本組長とまちぐみ組員とで実施。また、十八日町にある活動拠点まちぐみラボの2階壁面も塗装リノベーション。

・実施店舗：ロイヤル美容室、かおる〜む

■まちぐみへの加入

まちを元気にしたい！まちで楽しいことがしたい！という方々が、まちぐみ組員として加入。2016年度は83名が加入。ニックネームとまちぐみで活かしたい得意技等の登録で誰でも加入可能。(1,000円でTシャツ購入、顔写真撮影あり)

■はちのへほコテン！出店

まちぐみの活動PRのため、「はちのへほコテン！」に出店。その際、組員の自主的な企画として、まちぐみグッズやまちぐみ組員がデザインした南部せんべいパッケージなどを販売。

・実施日：2016年6月26日(日)、9月25日(日)、10月30日(日)

■まちぐみアーカイブ展

1年間の活動記録展示を実施。活動記録写真やまちぐみグッズなどを展示。3月11日(土)には、「ザ・スライドショー」を開催。山本組長とはっち主任コーディネーター柳沢拓哉が、まちぐみの2年半を写真とトークで振り返り、今後の活動について語った。

・期間：2017年3月7日(火)～20日(月・祝)

・来場者数：2,432名(うち、まちぐみ新規加入者9名)

■「十八日の市」

“18”日町の“18”店舗が参加し、180円～180万円の“18”という数字にかけた金額の商品を販売するなど、山本組長がプロデュースする“18”づくりの「十八日の市」を開催。

・実施日：2017年3月18日(土)

・主催：十八日町商店会



山本組長とメンバーが力を合わせてリノベーション作業を進める



まちづくりに関心を持つ八戸東高校の生徒とのワークショップ

八戸立体絵巻プロジェクト

八戸三社大祭の山車を造形する市民力によって 八戸固有の物語を浮かび上がらせる

2016年度から、はっち開館10周年でもあり、オリンピックイヤーの2020年度を目指して実施するアーティスト・イン・レジデンス事業。

本事業のスタートとなる2016年度は、市民記者「はちのヘスケターズ」を組織して八戸市に暮らす人々の生活の中に存在する物語やエピソードを88個収集する取材活動と、招聘アーティストによる山車組を取り巻く現状リサーチを行った。

■はちのヘスケターズ

八戸の地域資源掘り起こしへの想い溢れる市民たち「はちのヘスケターズ」が、市内各地でインタビュー活動を行い記事にまとめた。

・期間：2016年8月～2017年3月

インタビューと執筆のための講座「聞く書く講座」(全6回)実施

2016年8月～2016年10月

・「聞く書く講座」講師：鎌田高広(コピーライター)

吉川由美(はっち文化創造アドバイザー)

取材・執筆・編集活動

2016年9月～2017年3月

・参加者：44名 大人スケターズ28名、高校生スケターズ16名(八戸高校6名、八戸東高校10名)

■八戸三社大祭山車組現状リサーチ

山車制作期間より、全27山車組を招聘アーティストらが継続的に取材。山車の制作工程からお囃子練習、炊き出しに至るまで、各山車組の活動全般を取材し、映像などにまとめた。

・実施日：2016年6月～8月

・招聘アーティスト：住中浩史(アーティスト)

小岩秀太郎(縦系横系合同会社代表)

山田雅也(縦系横系合同会社副代表)



88ストーリーズ収集中！



取材の極意を勉強中



ドクターカーV3プラスも拝見



各山車組の炊き出しも大事な取材対象



スケターズが市内各地で熱烈取材



文化芸術
活動支援
事業

アーティスト・イン・レジデンス事業 八戸のスケート文化を アートが目線で発信



歴史楽者の古館氏に堤の歴史を教してもらったツアー



ミニ勘太郎堤にスケート人形を浮かべる



みんなで掘って堤の模型を作りました



ミニ勘太郎堤を再現した映像やスケート人形を展示

はっちでは、アーティストがまちと関わりながら市民に新たな発見や感動、八戸の魅力を再認識するきっかけを与えられるような活動を支援している。2016年度は「スケート」をテーマにアーティストの深澤孝史が八戸のスケート文化を掘り起こすプロジェクトを実施した。八戸のスケートの歴史と、市民のスケートの記憶から、八戸がなぜ「水都八戸」と呼ばれることになったかを探り、その象徴である「勘太郎堤」の模型を制作した。

■はっちのスケートアートプロジェクト「堤にもどる」

企画実施者：深澤孝史

○スケート自分人形をつくろう！

・期間：2017年1月7日（土）～8日（日）

・参加者：約300名

○八戸スケート大会発祥の“ため池”を10分の1サイズで掘ってつくろう！

・期間：2017年1月14日（土）

・参加者：約20名

○勘太郎堤跡探検ツアー

・期間：2017年1月21日（土）

・参加者：13名

・講師：古館光治（歴史楽者）

○スケート人形を勘太郎堤に浮かべよう！

・期間：2017年1月29日（日）

・参加者：約80名

○ドキュメント展示「堤にもどる」

・期間：2017年2月10日（金）～20日（月）

・特別協力：穂積建設工業株式会社、ライズペープ株式会社

・協力：エスプロモ株式会社、柏崎公民館、柏崎地区町内会、社会福祉法人みやぎ会デイサービスばんちょう、東カングランドマンション、八戸市教育委員会、岡田寿史、河原木浩、橋本恭二、久水英一、古館光治

文化芸術
活動支援
事業

わび
和日カフェ
～日本文化に親しむ日～

日々の生活の中に
日本文化を見つけよう



市民が気軽に日本文化を楽しめる場・各文化団体の活躍の場の創出を目的に、毎月第3日曜日に実施。今年度は「身近にある日本文化を楽しむ」をテーマに、普段の生活の中にある日本文化に注目した企画を実施。

■2016年4月17日(日) 58名

○植物に親しむ「こけ玉」づくり

好きな草花を選んで、自分だけのオリジナルなこけ玉作り体験を実施。

・参加者:28名

・参加料:1,000円から

・実施:株式会社パセリー菜

○畳の上で「昔話」を聴こう！

畳の上で未就学児に日本の昔話の絵本や紙芝居の読み聞かせを実施。

・参加者:25名

・実施:八戸市読み聞かせボランティア「青い鳥」

○和紅茶のおけいこ

国産紅茶(和紅茶)の美味しい淹れ方レクチャーや、飲み比べのほか、八戸銘菓や和食に合う組み合わせを紹介。

・参加者:5名

・参加料:1,500円

・実施:ていーらんぶ

○八戸ペアリング～和紅茶と八戸スイーツの出会い～

八戸のおいしいお菓子に合う国産紅茶を紹介。

・販売数:18セット

・参加料:500円(お菓子付き)

・実施:ていーらんぶ

■2016年5月15日(日) 84名

○行楽弁当を食べながらマナーを学ぼう

～「豆しとぎ」も作ってみよう～

行楽シーズンに合わせ、重箱に料理を詰めるコツや食べる際のマナーを学ぶ講座を実施。また、八戸で昔から親しまれているお菓子「豆しとぎ」の料理教室を実施。

・参加者:14名

・参加料:1,000円

・実施:村田文子(きたむら食堂店長)

○世界に誇る日本の家紋～紋を語ろう～

世界的にも優れたデザインとして注目されている「家紋」を、紋章上絵師の仕事を通して見直すことで、日本人の優れたデザイン力に触れる。



盆栽の手法を学びながらのこけ玉作り体験



家紋を現代に受け継ぐ紋章上絵師の仕事道具



お点前体験

- ・参加者:約70名
- ・講師:下崎雅之氏(紋章上絵師)

■2016年6月18日(土)、19日(日) 100名
 ○南部裂織・文化刺繍・木目込人形展～伝統工芸の美～
 南部裂織の帯や文化刺繍作品、木目込人形の展示を実施。

- ・参加者:約100名
- ・主催:八戸南部裂織工芸、文化刺繍小菊八戸支部、東京木目込人形八戸支部

■2016年6月19日(日) 265名
 ○お茶席～初夏の茶会～
 通常のお茶席のほか、実際に抹茶を点てられる体験コーナーを併設。

- ・参加者:85名(うち体験コーナー10名)
- ・参加料:300円(和菓子付き)
- ・実施:江戸千家不白会八戸支部
- 日舞・詩吟・長唄公演～清風にのせて「水無月わび絵巻」～
 日本舞踊・詩吟・長唄の公演を実施。
- ・参加者:約100名
- ・主催:日本舞踊と邦楽・藤清會、若柳流富千穂会、泉流皐晶会、若柳流薫邦会、八戸小唄八幡馬のうた雅会、日本舞踊泉流紫峰会、花柳流葉昌栄会、泉流彩菜会、泉流徳千佳会・花邑一弥社中、長唄はつ音会、珠峰の会、直派分家若柳流 柳永会、みちのく吟詠会(13団体)

○押し花とドライフラワー展～初夏のかおりをあなたに～
 身近な花を使用した作品を紹介。また、押し花やドライフラワーを使用したうちわ作りなどのワークショップを開催。

- ・参加者:80名うち体験コーナー55名
- ・参加料:100円～800円
- ・実施:アトリエ小さな花、アートセンターめいぷる

■2016年8月21日(日) 70名
 ○イカを丸々使った料理を作ろう～イカ飯～
 八戸の旬の味「夏イカ」を使って、「イカ飯」を調理。腑やゲソを使った料理も紹介。

- ・参加者:14名
- ・参加料:1,000円
- ・講師:山本康子(菜膳わたすげ店主)
- 投扇興を楽しむ
 和風の当てゲーム「投扇興」を実際の試合形式で体験。
- ・参加者:16名

- ・参加料:200円
- ・実施:投扇興を楽しむ会 はなみずき連
- 八戸花火大会 ライブ中継
 BeFM「八戸花火大会スペシャル」のインターネット中継を大画面で上映。
- ・参加者:40名
- ・協力:コミュニティラジオ BeFM

■2016年8月12日(金)～14日(日) 422名
 ○はっちのお化け屋敷
 メドツ伝説第三章～閉鎖された研究所～
 八戸に伝わる妖怪「メドツ」を題材としたお化け屋敷を実施。

- ・参加料:100円
- ・共催:NPO法人はちのへ未来ネット

■2016年9月18日(日) 90名
 ○いけばな体験～私の花をいける～
 好きな花を選んでいけるいけばな体験を実施。出来上がった作品は、草月いけばな展で展示。

- ・参加者:11名
- ・実施:草月会青森県支部
- お茶席～お月見茶会～
 美しい月を思い浮かべながらのお茶席を実施。
- ・参加者:79名
- ・参加料:300円(和菓子付き)
- ・実施:表千家青森県青年部

■2016年10月16日(日) 129名
 ○名残のお茶席
 和室でのお茶席と、椅子席での立礼式のお茶席両方が楽しめるお茶席を実施。

- ・参加者:120名
- ・参加料:300円(和菓子付き)
- ・実施:江戸千家岩手不白会
- いけばな体験～竹にいける～／小さないけばな展

竹の器に秋の草花をいける体験を実施。また、「普段の暮らしに花を添える」をテーマに、身の周りにある器にかけた「ちいさないけばな展」を実施。

- ・参加者:9名
- ・参加料:1,000円程度
- ・実施:一葉式いけばな青森県支部



実はこれ「日本刺繍」です



手作りの大型スクリーンにより屋内で八戸花火大会を観賞



投扇興で国際交流

■2016年11月13日(日) 226名 ※第二週に実施

○浮世絵で楽しむお茶席

さまざまな浮世絵(複製画)を間近に見ながら、お茶とお菓子が楽しめるお茶席を実施。

・参加者:178名

・参加料:300円(和菓子付き)

・実施:岡田茂吉美術文化財団八戸支部

○折り紙で作る「連獅子」

お正月の飾りにも使える、連獅子の折り紙作品を制作。

・参加者:32名

・参加料:500円

・実施:岡田茂吉美術文化財団八戸支部

○おうちでできる季節の野菜漬物教室

季節の野菜の漬物を簡単に漬ける方法や漬物の豆知識を学べる講座を実施。

・参加者:16名

・参加料:600円(試食付き)

・実施:村田文子(きたむら食堂店長)

■2016年12月18日(日) 78名

○煎茶道体験～ほうじ茶を楽しむ～

ほうじ茶を中心とした煎茶道の世界を体験できるお茶席・お点前を実施。

・参加者:37名

・参加料:300円

・実施:芭蕉流煎茶道八戸支部

○キャンドルを使ってクリスマス花をいけよう

クリスマスをテーマにした、いけばな体験を実施。

・参加者:30名

・参加料:600円程度

・実施:一般財団法人小原流八戸支部

○だし講座「金山家(静岡屋)のお雑煮を作ろう」

お正月にぴったりなお雑煮に使える出汁教室を実施。出汁の取り方や豆知識などを学べる。

・参加者:11名

・参加料:1,500円

・実施:金山和歌子(だし&カフェ禅代表 だしソムリエ2級)

■2017年1月15日(日) 165名

○はっち杯 百人一首大会

はっちオリジナルルールの百人一首大会を実施。

・参加者:15名

○八幡馬制作実演

鉦1本で制作する八幡馬の制作実演を実施

・実施:大久保直次郎(青森県伝統工芸士)

○伝統文化親子教室発表会 & 長唄はつ音会公開稽古

1年間日舞・長唄・三味線を練習してきた子ども達の発表会と、お師匠方の普段の練習風景を見ることが出来る公開稽古を実施。

・参加者:約100名

・実施:泉彩菜日本舞踊稽古所、長唄はつ音会

○昔の遊び体験コーナー

年齢を問わず、独楽や福笑いなど昔ながらの遊びを自由に楽しめるコーナーを設置。

○抹茶コーナー

喫茶店で珈琲を飲むように気軽に抹茶を楽しめるコーナーを設置。

・参加者:約50名

・参加料:300円

・実施:chacha

■2017年3月19日(日) 192名

○篆刻・刻字 作品展示 & ワークショップ

篆刻や刻字作品の展示のほか、絵手紙や書道などの書画作品に捺すことのできる落款印づくりと刻字体験を実施。

・参加者:11名

・参加料:500円～1,000円

・実施:有限会社朝日堂

○襖絵と天井画で楽しむお茶席

国の重要文化財MOA財団所有の襖絵と天井画(複製品)の展覧で非日常的空間を演出し、美術鑑賞しながら楽しむお茶席を実施。

・参加者:159名

・参加料:300円

・実施:岡田茂吉美術財団八戸支部

○折り紙で作る干支「酉」

2017年の干支を題材にした折り紙教室。インテリアとしても飾れる作品の制作。

・参加者:15名

・参加料:500円

・実施:岡田茂吉美術財団八戸支部

○風呂敷の使い方ワークショップ

基本の包み方からピンやスিকাなど応用した結び方を学べる講座を実施。

・参加者:7名

・参加料:500円～1,000円

・実施:加藤恵子



出汁の極意を学びます



師匠方による生演奏。長唄を満喫



日本唯一の技「一刀彫り」を間近に見る。八幡馬制作実演。

文化芸術
活動支援
事業

酔っ払いに愛を2016 ～横丁オンリーユーシアター～

酔っ払いとアートが競演？
八戸にしかないアートフェス



横丁ならではの、演者に触れてしまうほど狭い空間での迫力満点なパフォーマンス

八戸名物「横丁」は、古くから残る小路と小さな店が連なる、全国的にも珍しいエリア。そんな横丁を舞台に、狭い店内や細い道で、思わず息を呑むような近い距離感でパフォーマンスを繰り広げるのが「横丁オンリーユーシアター」である。毎年さまざまな試行錯誤の中、記念すべき8回目となった今年は、「良い演目をしっかりと魅せる」ことに立ち戻って実施した。出演アーティスト数を減らし、各演目をより丁寧に作りこむことで、より良い鑑賞体験を演出することを試みた。

- 期間：2016年10月7日(金)～10月9日(日)
- 来場者数：3日間合計来場者1,410名
- チケット代：1,000円(3公演鑑賞券＋1ドリンク引換券)
1公演チケット1枚500円
- 主催：酔っ払いに愛を実行委員会
- アーティスト：江戸八艶椿、斉藤栄治、un-pa、かえるP、小笠原雅・黒田眸、十日市秀悦、清水宏、華うた、y. y. y、後藤かおり、仲坪由紀子 & うみねこオールスターズ
- 協賛：オリエンタル酒販株式会社、南部電機株式会社、ムーンプラザ、株式会社なら弥、八戸金融団、株式会社ビーエフエム、中居食品容器株式会社、株式会社類家大学堂薬局、八戸タクシー株式会社、蜘蛛の糸、クラブ シャングリラ、いわとくパルコ、ホテルサンルート八戸、八戸液化ガス株式会社、株式会社ライケット、三八五観光株式会社、キララ、メガネの玉屋、PROA LLC.、パワーステーション A7
- 後援：NHK 青森放送局、青森放送株式会社、青森朝日放送株式会社、株式会社青森テレビ、株式会社八戸テレビ放送、株式会社岩手めんこいテレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、株式会社エフエム青森、株式会社ビーエフエム、八戸中心商店街連絡協議会、八戸商工会議所、株式会社まちづくり八戸、公益社団法人八戸観光コンベンション協会
- 協力：八戸横丁連合協議会、ジャスマック八戸館、金剛ビル、男山ビル、オリエンタルビル、檜館七番街、ムーンプラザ



清水宏にかかれば、たちまち観客も主役に！



この距離感は、五感で感じずにはいられません



キャバレーでバレエ??



文化芸術
活動支援
事業

パフォーミングアーツ 振興事業

新たなファン層へアピール・
八戸で質の高い芸術観賞の
機会を

全国的に活動するアーティストのパフォーマンスなど、質の高い芸術観賞の機会を八戸でも多く提供することで、パフォーミングアーツの新たなファン層へのアピールとなった。また関係者とのネットワークが生まれるチャンスともなり、今後のはっちでの音楽・舞台公演にも繋がるものとなった。

■スガダイロートリオライブ

日本ジャズ会注目のピアニスト・スガダイロー率いるバンドの公演を実施。ジャズファンの多い八戸で現在活躍中のピアニストが演奏する機会を提供した。

- ・実施日：2016年6月4日(土)
- ・出演：スガダイロートリオ
- ・参加者：60名
- ・チケット：前売2,500円 当日3,000円



世界三大ピアノメーカーベヒシュタイン社製ピアノでの演奏



トークでも会場を沸かせます



演奏終了後にはサイン会や写真撮影も

市民
活動支援
事業

第五回 はちのへ演劇祭

市民とプロ俳優陣の共作。
ロードムービー風半朗読劇。



「八戸を再び演劇のまちへ」という思いのもと始まった、はちのへ演劇祭。

第五回を数える今回は、演劇に興味はあるけど一歩踏み出せない、八戸の隠れた演劇人掘り起こしのため、稽古を継続ワークショップ形式とし、参加者を広く募った。その結果、今まで演劇活動をしていなかった多くの市民が第五回はちのへ演劇祭に出演することとなり、八戸の演劇界を広げる一助となった。

■第五回 はちのへ演劇祭 関連ワークショップ

仲坪由紀子監修による、演劇の楽しさを体験するワークショップを実施。本企画参加者の中から、希望者が第五回はちのへ演劇祭に出演した。

- ・期間：2016年7月23日(土)～11月6日(日)
- ・共催：はちのへ演劇祭実行委員会
- ・監修：仲坪由紀子(俳優、脚本家、振付家)
- ・講師：仲坪由紀子(俳優、脚本家、振付家)、伴美奈子(俳優)、藤谷みき(俳優)
- ・参加者：29名
- ・参加費：仲坪ワークショップ：無料、伴ワークショップ：1,000円
藤谷ワークショップ：1,000円



ワークショップには中学生から大人までが参加



仲坪由紀子氏による指導

■第五回 はちのへ演劇祭

南部町出身の俳優・仲坪由紀子の演出。ワークショップ参加者の中の希望者と、東京から招聘した俳優が織り成す、ロードムービー風半朗読劇の上演。

- ・期間：2016年11月10日(木)～11月13日(日)
- ・共催：はちのへ演劇祭実行委員会
- ・参加者：入場者462名、出演者20名
- ・チケット：一般前売1,000円、一般当日1,500円、
学生前売500円、学生当日700円
団体割：6人同時購入で1人無料



市民と俳優が作り上げた舞台

ものづくり
支援事業

ものづくり スタジオ

創り手の手仕事を間近で観ることができ、 その場で買うことができる工房兼ショップ

2014年度から入居した店舗が今年度も継続して営業。2階から4階まで、クラフトは伝統工芸の南部裂織など、フードは健康料理など計8店舗入居している。各店の入居者が充実した創作活動や店舗経営を行い、将来の中心街への出店に向けて営業している。

■2016年度 ものづくりスタジオ入居者一覧

クラフト	おもちゃハウスくれよん (おもちゃ)	入居中
	工房「澄」 (南部裂織)	入居中
	かわいいアロマひつじや (アロマ)	2017年3月卒業
	7the4th- HANDICRAFT- (革小物)	2017年3月卒業
フード	Sports café RUOTE (カフェ)	2016年7月卒業
	Sports café YELL (カフェ)	2016年7月入居 2016年10月卒業
	きたむら食堂 (健康料理)	入居中
	雅ちゃんカフェ (健康料理)	入居中
	very berry + (フレッシュジュース)	入居中



Sports café YELL
店内で各種スポーツを
気軽に観戦



おもちゃハウス くれよん
愛情たっぷり
手作りおもちゃのお店



きたむら食堂
地元食材を使った
身体を想う料理のお店



工房「澄」
柔らかな「地機織り」に
こだわった南部裂織のお店



雅ちゃんカフェ
食材1つ1つを生かした
体に優しい料理のお店



かわいいアロマひつじや
1人1人に合った
香りをお届け



very berry +
地元のもの、旬なものを
おいしく体にプラス



7the4th-HANDICRAFT-
機能性や強度にこだわった
一点ものの革小物



今年で6回目となる、はっち全館を使った「はっち市～はっちがちっちゃな街になる～」
「ウチとソト」をテーマに、メイン企画であるクラフト市には69店舗が出展。また、ライブ・まなび舎・ワークショップを実施したほか、今年では中心街の店舗とのコラボ企画に力を入れた。

○開催日

2016年11月18日(金)12:00～20:00

11月19日(土)10:00～18:00

11月20日(日)10:00～17:00

○テーマ「ウチとソト」

○主催:はっち市実行委員会

○来場者数:16,825名(3日間計)

○出展者:クラフト69店舗、フード10店舗

■オープニング

こどもはっち「ちびっこダンサーズ」によるオープニングセレモニーを実施。

・実施日:2016年11月18日(金)

・協力:NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

・出演:13名(1～3歳のこどもたち)

■冬の外カフェ

薪オーブンを活用したカフェ。スープなどの温かいメニューのほか、焼き立ての焼き芋も提供。

・期間:2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・実施:そーるぶらんちかふえ・ろっかく珈琲・ウッドラック

■はっち市ラジオ局

ひるびびの特別番組および、ラジオ風の館内放送を実施。

・期間:2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・協力:コミュニティラジオ局 BeFM



「はっち市はじまるよー!!」(by ちびっこダンサーズ)



寒い外でもあったか「冬の外カフェ」

■マチナカ コラボ企画

はっち市2016ガイドブックを提示すると、中心市街地にある協力店舗3店でお得なサービスが受けられるコラボ企画。

・協力店舗及びサービス

①フォーラム八戸「聖の青春」を割引料金で鑑賞

②カネイリ番町店 喫茶コーナー：ランチセット・八戸焼き卵サンドセットを割引

③街カフェみなど：飲食をされた方にオリジナルクッキー「八戸うみねこバクダン」をプレゼント

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・参加者数：約20名(3店舗合計)

■ちっちゃな街のまなび舎～手しごと分校～

出展7店舗によるワークショップを実施。

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・実施：逃猫舎、アトリエ Apricot、ripples、アトリエ CANOE、AKUBI NO ZIKAN、5works、kamachaiya

・料金：各店舗による

■ちびっこアートひろば

ダンボール作品へ好きにペインティングできる空間を演出。

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

■八戸の伝統工芸体験

南部裂織、南部菱刺し、初参加の組子細工それぞれの作品が作れるワークショップを実施。

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・主催：八戸南部裂織工房「澄」、南部菱刺し刺っ娘の会、館タテグ工芸

・参加料：南部裂織700円、南部菱刺し・組子細工500円

■こどもはっち こども商店街

こどもはっち内にお店屋さんごっこブース、さかな釣りコーナー、ちぢみっこ作りコーナーを設置。

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・主催：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

■託児室

こどもがいる保護者もゆっくり楽しめるよう託児室を準備。

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・主催：NPO法人八戸子育てメイトサロンネット「みらい」

・利用料：1時間200円／1人(最大2時間まで)

・利用者数：44組(3日間合計)

■写真 奥入瀬 隠花植物の園 by 河井大輔

河井大輔が撮影した、奥入瀬溪流付近に自生する隠花植物を中心とした写真15点を展示。

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・協力：河井大輔(奥入瀬自然観光資源研究会ネイチャーガイド)

・入場者数：1,403名

■ガラクタの逆襲

～ちよつと古くて心に残る、手仕事の面白いもの展～

かつては生活の中にあった古道具や民具を中心に展示。

ギャラリートークも開催。

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・入場者数：3,156名

■八戸工業大学第二高等学校美術コース～作品のかいだん～

美術コースの生徒が制作した八戸駅ユートリー連絡通路に展示している、八戸と近隣地域の魅力を伝えるポスター36枚を階段踊り場に展示。

・期間：2016年11月18日(金)～11月20日(日)

・協力：八戸工業大学第二高等学校 美術コース

■ちびっこサンバ

アーティストYAMとちびっこサンバチームによる館内を練り歩くゲリラライブを実施。

・実施日：2016年11月19日(土)

■青葉市子ライブ in はっち～ふしぎな市の青葉市子～

シンガーソングライター青葉市子によるライブを実施。

・実施日：2016年11月19日(土)

・ライブ出演：シンガーソングライター青葉市子

・チケット：前売3,000円、当日3,500円

・入場者数：100名

■ちっちゃな街のまなび舎

ウチとソトをテーマに各専門家による講演を開催。

・内容：①縄文語のはじまり(小久保 拓也)

②宇宙のウチとソト(丹羽 隆裕)

③奥入瀬 インカアウトか(河井 大輔)

・実施日：2016年11月20日(日)

・参加者数：のべ160名



初登場の「組子細工体験」真剣に組み立てます



あちこちから「これ懐かしい！」の声が…



お気に入りの作品を物色中「似合うかな？」



ものづくり
支援事業

ものづくり支援事業

八戸でものづくりを
目指す人を支える

中心市街地への出店を目指す、ものづくりスタジオ入居者支援のため、三社大祭・七夕まつり・はちのへホコテン・クラフト市「はっち市」への無償出店のほか、はっちウェブサイト等でのお店紹介、ものづくり体験を中心としたイベントを開催したことで、各店舗のPRを図った。



料理教室など、親子で楽しめるイベントを中心に実施



小さい子どもたちがものづくりに挑戦



七夕まつりなどへ出店し、多くのお客様をお出迎え

■ものづくりスタジオワークショップ

入居者が、イベントの企画立案から開催までを行い、料理教室やものづくり体験を中心に実施、特別メニュー含めた飲食物の販売も行った。

- ・実施日 ・あわてん坊のお花見パーティー：2016年4月9日(土)
- ・夏休みキラキラワークショップ：2016年7月24日(日)
- ・ものスタクリスマスウィーク：2016年12月11日(日)～12月25(日)
- ・ものスタクリスマスパーティー：2016年12月25日(日)

■各イベントへの出店

- ・はちのへホコテン
6月26日(日)、8月28日(日)、9月25日(日)、10月30日(日)
- ・はちのへ七夕まつり
7月15日(金)～7月18日(月・祝)
- ・八戸三社大祭
7月31日(日)～8月4日(木)
- ・はっち市2016
11月18日(金)～11月20日(日)



可愛いアクセサリなど日常でも使える作品づくりが人気

観光振興
・FMアクセス
事業

お祭りin はっち (八戸三社大祭関連事業)

八戸の夏は最高潮！
「八戸三社大祭」をはっちで楽しもう！

八戸の夏最大のイベント八戸三社大祭と連携し実施した「お祭りinはっち」。今年は6月の東北六魂祭に特別参加した長横町粋組の山車を三社大祭期間前から展示するなど、山車展示期間を延長、もちろん加賀美流騎馬打毬ツアーなど恒例企画も実施。

■創作和紙人形展～お祭りがやってきた！～

創作和紙人形作家 和井田良子による、三社大祭神社行列の各場面を再現した和紙人形展を実施。

- ・期間：2016年7月29日(金)～8月7日(日)
- ・協力：和井田良子

■八戸三社大祭＆加賀美流騎馬打毬パネル展

八戸三社大祭の歴史・神社行列の見どころや騎馬打毬の歴史・ルール解説の写真パネルを展示し、八戸三社大祭期間内外においても八戸三社大祭の雰囲気醸成。

- ・期間：2016年7月29日(金)～8月15日(月)

■はっちの山車展示

東北六魂祭に特別参加した長横町粋組と八戸共進会の山車を展示。市民や観光客に山車の迫力を感じていただくとともに、はっちひろばを山車小屋に見立てた、山車の出し入れの臨場感を味わえるのが特徴。

- ・期間：2016年7月30日(土)～8月7日(日)
- ・協力：長横町粋組、八戸共進会山車組

■小太鼓体験～たいこでドン！～

八戸三社大祭の練習風景の映像に合わせて小太鼓体験にチャレンジ！お祭りに参加している気分が味わえる。

- ・期間：2016年7月31日(日)～8月4日(木)
- ・協力：八戸婦人ボランティアいちいの会
- ・参加者：675名

■加賀美流騎馬打毬 観戦ツアー

全国で八戸を含め3か所で行われていない「騎馬打毬」をルール解説付きで観戦するツアー

- ・実施日：2016年8月2日(火)
- ・場所：長者山新羅神社(集合：はっち)
- ・参加料：500円
- ・参加人数：25名

○協力団体

龍神社、長者山新羅神社、神明宮



東北六魂祭に特別参加した長横町粋組の山車



三社大祭の山車行列を創作和紙人形で再現した和紙人形展



三社大祭と加賀美流騎馬打毬の見所や歴史、魅力などをパネルでわかりやすく紹介



お気に入りの半纏を着て小太鼓を楽しそうに叩くこども



騎馬打毬ツアーにてはっちスタッフから歴史・ルール解説を聞く参加者たち

観光振興
・FMアクセス
事業

えんぶり in はっち

見て楽しい・体験できる！
はっちのえんぶり



市民の皆さんにも定着してきたえんぶり公演や衣装の着つけ体験のほか、人気のミニえぼし作りはバージョンアップして開催。はっち特派員と2名の写真家によるコラボレーション写真展という新しい試みも取り入れ、館内は子どもから大人までえんぶりを満喫できる空間となった。

■ 類家けんじろう型絵染展

八戸出身の工芸作家、故類家けんじろうが制作した、えんぶりをモチーフとした型絵染を中心とした作品展示。今回は、一部原版も展示。

・期間：2017年2月12日(日)～2月20日(月)

・協力：類家美美、佐々木良市

・入場者数：約2,000名

■ 写真展「えんぶり人(びと)」

はっち特派員と2名の写真家による、えんぶりに携わる「人」にスポットを当てた写真展。

・期間：2017年2月12日(日)～2月20日(月)

・協力：はっち特派員、松本佳子、朝倉康則

■ 「えんぶり」創作和紙人形展

明治初期のえんぶりの様子を再現した和紙人形展。

・期間：2017年2月15日(水)～2月20日(月)

・協力：和井田良子

■ えんぶり公演

各日昼と夜に各えんぶり組による公演を実施。

・日程：2017年2月17日(金) 名川中、八太郎
2月18日(土) 鳥屋部、研賛会
2月19日(日) 大久保、東十日市
2月20日(月) 十一日町、上組町

・観覧人数：約2,400名(全日程合計)

■ えんぶり衣装着つけ体験

太夫や祝福芸の衣装を着ることができる体験。

・期間：2017年2月17日(金)～2月20日(月)

・協力：内丸えんぶり組、市庁郷土芸能保存会

・参加者：126名

・参加料：300円

■ ミニえぼしを作ろう！！

片面が「どうさいえんぶり」、その半対面が「ながえんぶり」とデザインが異なるミニえぼしを作って、えんぶりに種類があることも学べるミニえぼし作り体験。

・期間：2017年2月17日(金)～2月20日(月)

・協力：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

・参加料：100円

■ えんぶり人形作家と話そう

再現した作業場で作家本人による制作実演。

・期間：2017年2月17日(金)～2月20日(月)

・協力：下崎雅之(えんぶり人形作家)

・参加者：約300名

■ 「えんぶり」飾りを作ろう

和紙を切り貼りして鳥帽子を作り、色紙に貼りつけて完成。

・期間：2017年2月18日(土)～2月19日(日)

・講師：和井田良子

・参加料：800円

・参加者：18名

■ えんぶりシアター・パネル展

2016年の奉納摺り等を収録したえんぶりDVDの映像上映と、えんぶりを分かりやすく解説したパネル展。

・期間：2017年2月17日(金)～2月20日(月)



作業場から原版もお借りして展示した型絵染展



「どうやって作るんですか？」作家の手元が見られて、直接話が聞ける贅沢な空間



「是川時空探検祭！」 縄文時代にタイムスリップ！ 縄文テーマパークへようこそ！

2015年度のAIR事業で「八戸ロマン時空探検隊」を実施したアーティストYORIKOが、八戸市民にもっと八戸の縄文文化に親しみを持ってもらいたいと企画した。是川縄文館とはっちがタッグを組み「縄文時代にタイムスリップ」をコンセプトに演劇や音楽など創造性と臨場感を高めたコンテンツで縄文文化を発信した。

■是川時空探検祭！

企画実施者：YORIKO

・期間：2016年5月5日（木・祝）

・参加者：約80名

・共催：是川縄文館

・協力：安達良春、外館暢子、鎌倉藍実、サム助、これカフェ、
是川縄文館ボランティア

○探検プログラム

・縄文文様で草木染め

・縄文劇場

・縄文ビート！

・時空探検撮影ブース

・弓矢体験

＜フルコースお楽しみバック＞

はっちから市内循環バス「るるぶ」へ乗って縄文館へ行くツアー。全プログラムに加え、実際に石器で肉を切る体験ができ、縄文鍋のお食事やお土産が付くお得なバック。

・参加者：33名

・参加費：1,500円



鮭や鱈の身を上手に石器で切ることもち



クイズ形式の演劇で縄文の生活について学ぶ



縄文人になりきって、ハイポーズ！



ここから先は縄文時代！



はっちの観光展示の特徴のひとつは、市民の手によるものが非常に多いこと。展示作品を制作した「市民作家」の皆さんと併せて、大切な担い手となっていていただいている方々が「市民学芸員・はっちサポーター」である。

種差海岸で自然観察・保護活動が続ける「わの会」の皆さんは、はっち館内種差海岸の紹介コーナーに10日に1回程度のペースで、いま咲いている植物や風景の写真をコメント入りで更新している。

また、ボランティアで月に3回程度、八庵にいけ花を展示したり、デーリー文芸天位入選作品を色紙作品に仕上げ展示するなど、展示更新には「はっちサポーター」が活躍している。

さらに、「はっち特派員」として、リアルタイムの地域情報を「はっち目線」で情報発信。はっち特派員ブログで旬な八戸の情報を発信。また、「八戸えんぶり」の開催に合わせて写真展を開催したほか、館内に大型タペストリーを展示した。

■「旬の種差海岸の花々」写真リポート

- ・実施団体:「植物観察わの会」
- ・場所:2階 観光展示「種差海岸コーナー」

■八庵いけ花展示

- ・日時:2016年4月～2017年3月(のべ26回)
- ・協力:金入陽子

■八庵色紙更新

- ・日時:2016年4月～2017年3月(月4枚×12か月)
- ・協力:杉本敦子

○色紙展

- ・日時:2016年7月1日(金)～7月7日(木)
- ・入場者:約1,200名

■写真展「えんぶり人」

はっち特派員と2名の写真家による、えんぶりに携わる「人」にスポットを当てた写真展。

- ・日時:2017年2月12日(日)～2月20日(月)



季節の花々で八庵を彩り利用者をお出迎え



デーリー文芸天位に入選した俳句や短歌を書作品に仕上げた色紙の数々

はっちを会場に 市民の活動発表の場を提供

■ストリート投げ銭ライブ in はっち

ストリート投げ銭ライブ in はっちも早三年、音楽ファンやパフォーマーたちの発表の場として、月2回程度(年間20回)水曜日の夜にはっちひろばで開催。

来場者は館内販売の飲食を楽しみながら観賞し、自分の気持ちを「投げ銭」で返すというスタイルは、出演者にとってダイレクトに観客の反応が伝わるステージとなっている。

・期間:2016年4月～2017年3月(年間20回)

・開場:18:30 開演:19:00 終演:20:00

・入場料:無料

・入場者数:1回平均 約30名

・出演者:4月6日 Sugar&Spice

4月20日 加賀 JF

5月8日 madam youko と仲間たち

6月8日 Emel Oriental Dance

6月22日 ゴンザー座

7月6日 馬はなし亭呑助

7月27日 厨二病ナイト

8月24日 DuO PIACERE

9月14日 OLD-AGE

9月28日 生田流箏曲松の実會青森県支部

五戸・更上閣・松操会

10月12日 桜花

10月26日 星川 七恵

11月9日 ニコ♡ニコ

12月28日 Asako スーパードライ

1月11日 The Good times

1月25日 まちブーン

2月8日 矢沢 A 喜一 & MINAMI

2月22日 pasaco

3月8日 齋藤 芳夫

3月22日 Trio Bearissimo

■ベヒシュタイン・ピアノリレーコンサート

はっちの所有する世界三大ピアノメーカーベヒシュタイン製のピアノを市民に弾いてもらう機会を提供しようと演奏者を募集。リレー形式でコンサートを開催。今年は、八戸特派大使でピアニストの豊嶋裕子氏の伴奏によるシャンソンコンサートも同時開催。

・期間:2017年3月19日(日)

・出演者:63組

・入場者数:のべ440名

・解説:諏訪内昌子 ピアノ講師



さまざまなジャンルの出演者たちがはっちひろばでパフォーマンス



ベヒシュタインピアノの魅力を体感できた一日

はっちがずっぱど南部弁

南部弁の魅力を再認識し 後世に伝えるために

2016年の「はっちがずっぱど南部弁」は2部構成。第1章は、毎年恒例の「南部弁サミット」。青森県南部弁・津軽弁・下北弁・岩手県釜石弁の語り部が一堂に会し、地域性の違いで言葉が変化の様子など方言の魅力を探ったほか、八戸市立明治中学校1年生全員による群読「伝三郎長者」や演劇「キツネとカワウソ」では、生徒がのびのびと南部弁を披露。

さらに、今回は初めて実施企画を公募。参加した小中学生がプロの声優が指導のもと、南部弁でアフレコに挑戦し、映像に合わせて行うアフレコの奥深さを体験。

第2章では「南部弁バラエティーシアター全員集合！」を開催。南部弁満載のトーク、コント、手踊り、体操、歌などを繰り広げ、会場全体を笑いの渦に巻き込んだ。

・実施日：2016年12月3日(土)

第1章「小中学生による南部弁でアフレコに挑戦

～プロの声優さんと一緒に合わせて～」

「たくさんの南部昔コを楽しみましょう」

「南部弁サミットin八戸2016」

企画・プロデュース：柗谷伸夫

出演：アフレコ体験公募による小中学生、八戸市立明治中学校1年生、
八戸市公民館南部昔コ語り部養成講座受講生10名

協力：岩手大学「おらほ弁で語っぺしプロジェクト」、
弘前学院大学「発信！方言の魅力 語るびや語るべし青森県の
方言2016」

参加者数：約300名

主催：南部弁の日実行委員会

・実施日：2016年12月4日(日)

第2章「南部弁バラエティーシアター全員集合！」

企画・プロデュース：十日市秀悦

出演：十日市秀悦、瀬川さとし、あどばる～ん、大地球、西塚蘭子、夢
子、のんちゃん、八戸東高校表現科生徒

参加者数：約200名(2回公演)

チケット：2,000円(高校生以下1,000円) ※当日は2,500円



プロの声優指導のもと、南部弁でアフレコに挑戦する子どもたち



八戸市立明治中学校1年生による群読と演劇



南部弁について熱く語る柗谷氏



会場を彩った南部弁の習字作品



八戸三社大祭のair山車を元氣よく引いた高校生たち



南部弁まるだしで格好をつけてみた二人組

第4回八戸市民ロボコン ～かぶしま・ウミネコロボコン～

ウミネコの卵が巣から落ちている!?
オリジナルロボットでウミネコの繁殖地
「蕪島」へ急いで運ぼう!!



自作ロボットを巧みに操作し、ウミネコの巣に卵を産み落とそうとする参加チーム

毎年八戸の題材をテーマに市民で創るロボコン。4回目のテーマは「蕪島」「ウミネコ」がテーマ。国の天然記念物「蕪島」に見立てたコートに、自作のオリジナルロボットで卵型のアイテムを巣へ運び、対戦形式で得点を競い、白熱した戦いを繰り広げた。

■第4回八戸市民ロボコン～かぶしま・ウミネコロボコン～

「蕪島」に見立てたコートに、下は2歳から上は60代まで2人1組で作ったロボットで卵型のアイテムを運び、巣へ産み落とし、対戦形式で得点を競うゲーム。

- ・実施日：2017年2月12日(日)
- ・参加チーム：14チーム(28名)
- ・大会観覧者数：約100名
- ・参加料：1,500円(製作キット代)
- ・主催：八戸市民ロボコン実行委員会
- ・協力：八戸市中学校ロボコン



各チーム自作ロボットで運んだ卵型アイテムたち



試合全景。このコートで白熱したゲームが繰り広げられました



14チームの皆さんが工夫して制作したロボットたち



参加者の皆さん大変お疲れ様でした。来年もガンバリましょう！



今回優勝の「干し餓鬼(ほしがき)」チームの皆さん。賞状と金の卵メダルを手にパチリ！おめでとう！

来館者とまちをつなぐ ボランティアガイド

はっちは1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、1人で見て回っても十分楽しめる施設だが、毎日2人いるガイドに案内してもらくと、また違ったはっちを楽しめる。

館内案内や八戸の見所案内はもちろんのこと、良き話し相手にもなってくれるガイドは30代から80代の幅広い世代で構成されており、研修会などで勉強しながら日々はっちを支えている。

○ガイド常駐時間 9:00～17:00

はっちボランティアガイド活動日報より

○福島県からの50代夫婦を案内。4年ほど八戸に住んでいたそうだが八戸の変わり様に驚いていた。はっちもいろいろと工夫してある施設で、何も知らないで館内を見るよりガイドされてよく分かった。ガイドに声をかけてもらってよかった、ありがとうございます。と喜んでいた。

○実家が鮫で久しぶりの帰省。今住んでいるマンション群には、八戸など青森県南出身者が多く住んでいるが、みんな八戸は何もないところだから行っても面白くないといっている。それを払拭して帰りたいとはっちに来館。帰ったらマンションの住人へはっちに行ってガイドしてもらいなさい。とても素晴らしい建物で八戸があんなに変わっているなんて信じられない。と口コミによる宣伝を約束してくれた。

○以前、娘が八戸に住んでいたというご夫婦を案内。その時にはっちに一度来て、はっちのことを気にいったとのこと。えんぶりも好きのため、えんぶりにあわせてまた来八、えんぶりとはっちを楽しんで帰られた。

○はっちに来ると元気をもらえると友人に話をしたら友人もはっちに来ようになり、その方もはっちで友人ができた。はっちが開運スポットになっていると喜んでいた。

○神奈川県から来八の女性を案内。神社巡りが好きで暇さえあれば全国を巡っていて三社大祭の3つの神社に行ってきたとのこと。えんぶり、三社大祭にはまた来たい、八戸は食べ物が美味しいしはっちも素晴らしい施設ですねと誉めていただいた。



市内の小学校も社会科学見学の 일환としてボランティアガイド案内のもと館内を見学



はっちから飛び出し視察研修。研修先の施設のガイドから案内を受け、日頃の活動に反映



八戸三社大祭の山車制作者を講師に招いて研修会を開催。知識向上に努める



接遇研修でおもてなしの心を再確認

はっちリレーショナル・プレス はちみつ

このまちがもっと、このまちらしく
輝くためのソウゾウ開花
「はっち」が贈る、おいしい情報

はっち館内のことはもちろん、八戸の魅力を
紹介するフリーペーパーとして、2016年度ま
でに27号を発行。中心街のお店、市内公共
施設はもとより全国の公共施設にも配布してい
ることから、年々全国からの問い合わせも増え
てきている。2016年は年4回発行。

- ・発行部数：vol.24～26 15,000部
vol.27 18,000部
- ・仕様：B4判8ページ2つ折、フルカラー
- ・配布先：中心街約130か所
その他市外約360か所に配布
- ・発行時期：2016年6月(24号)
9月(25号)
12月(26号)
2017年3月(27号)



放送スタジオ 「びびすた♪」

ラジオから届け！
はっちのお知らせ情報



毎回、はっちでイベントを開催する主催者がゲスト出演し、楽しいトークを繰り広げる

「ラジオ」というと顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう？」「どんな空間で放送しているのだろう？」とワクワクするのもラジオならではの楽しみの一つだが、はっちでは1階のガラス張りの放送スタジオで公開放送しているので、スタジオの前に立てば、ラジオで話している様子を直接見ながら楽しむこともできる。「送り手と聴き手が空間を共有できる」はっちのラジオ放送をぜひ覗いてほしい。

また、番組中は、はっちや中心街で開催するイベントを告知するコーナーがあり、イベントの実施者が自らラジオに出演し、イベントの宣伝・PRを行っている。

- ・年間出演者数：約300名
- ・周波数：76.5MHz
- ・放送日時：毎週月～金 11:30～15:00
- ・協力：コミュニティラジオ局 BeFM



貸館事業

市民のみなさんの 活動・交流の場

はっちの三大事業のひとつである貸館事業。市民のみなさんがはっちの施設を利用し、さまざまな催し物を開催している。利用者は年々増えており、毎年開催される恒例イベントも増加している。各施設の特徴や利用事例を紹介。



1F はっちひろば

3階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会など多目的に使用可能。



1F シアター1

音響設備やピクチャーレール・ライトなどを用意しており、講演会・作品展示などが多く開催されている。



1F ギャラリー1

ピクチャーレール・展示用照明がある展示スペース。はっちひろば、シアター1と組み合わせた利用も可能。



2F シアター2

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。楽屋も完備しライブ・演劇が多く開催されている。



2F ギャラリー2

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。



3F ギャラリー3

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。



3F 和のスタジオ・八庵

炉を備えた 32 畳の和室「和のスタジオ」。掘りごたつ式にもなる「八庵」を組み合わせて利用も可能。お茶席・日本舞踊の発表会・お稽古が多く開催されている。



3F 音のスタジオ

ドラムセット・キーボード・アンプなど音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習のほか、シアター2の本番前練習にも利用されている。



4F 食のスタジオ

コンベクションオープン・炊飯器を始め、調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。調理の様子を映すカメラとモニターも設置。



5F 共同スタジオ

100 m²の多目的スペース。大人数でのワークショップなどが多く開催されている。



5F レジデンス

約 42 m²の多目的スペース。アーティストがレジデンスしていない時は、少人数の会議・セミナー、踊りのお稽古などが多く開催されている。

○貸し館の稼働率 (2016年4月～2017年3月)

スペース	稼働率
シアター1	92.4%
シアター2	72.8%
音のスタジオ	125.6%
レジデンス	99.5%
ギャラリー1	82.7%
ギャラリー2	54.4%
ギャラリー3	43.4%
はっちひろば	59.7%
食のスタジオ	29.8%
和のスタジオ	36.5%
共同キッチン	59.7%
共同スタジオ	44.3%

※4時間以下の利用を0.5日、それ以上を1日単位として換算





こどもはっち

未来の文化を
創造する
こどもたちに
開かれた場

こどもはっちは県産材の木の温もりをたっぶり感じながら遊べる、こどもとおとなの交流空間。毎週末におもちゃの工作や絵本の読み聞かせタイム、バス遠足や人形劇観賞、そして折々の季節行事など、たくさんの体験の機会を提供している。パパ・ママたちの出合いの場のサークル活動や育児・子育て相談事業を実施するとともに、各地域の子育て情報を発信するなど、八戸市の子育て支援の拠点施設としての大きな役割を担っている。全てのこどもたちが夢いっぱい健康やかに育つように、そしてこどもを育てる世代の全ての人たちが楽しく豊かに子育てできるように、地域のさまざまな団体、機関、個人のみなさまから御協力いただきながら事業を行っている。





2016年度 はっちの自主事業

区分	事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
1.	会館増づくり																								
2.	貸館事業																								
3.	こどもはっち																								
4.	自主事業																								
文化芸術活動振興	1) ライブライブ事業	・テーマに沿った展示(毎月)																							
	2) 中心街連携事業(シーズイベント等)																								
	3) 和日カフェ		17		15																				
	4) まちぐく(る)み																								
	5) 八戸立休絵巻プロジェクト																								
	6) 横丁活性化事業(酔っ払いに愛を)																								
	7) アーティスト・イン・レジデンス公募事業																								
	8) バックミニングアーツ展覧会																								
	9) ものづくりスタジオ支援事業																								
	10) はっち市																								
観光振興	11) お祭り連携事業																								
	12) フィールドミュージアムアセス事業																								
	13) 観光展示																								
	14) アークアブ																								
	15) 情報発信																								
その他	16) 市民活動支援事業① 球技競技	6	20	8																					
	② その他																								
	17) 新規ファン増進事業																								
	18) ハブミュージアムアライアンス																								
	19) コーディネーター企画																								
	20) はっち文化創造アドバイザー																								

はっちの年表

2006年	9月	基本構想策定
2007年	6月	基本計画策定
2007年	10月	基本設計策定
2008年	6月	プレ事業スタート
	12月	設計変更
2009年	4月	着工
	8月	愛称「はっち」に決定
2010年	3月	正式名称「八戸ポータルミュージアム」に決定
2011年	2月	はっち開館(2月11日)
	3月	東日本大震災により臨時避難所として運営(3月11日)
		照明学会 照明普及賞受賞
	7月	八戸レビュー販売
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前24%増 中心街全体13%増
2012年	2月	開館から1年目の来館者 888,888人
	3月	来館者数100万人達成(3月27日)
		来館者数1,011,916人(3月31日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前89%増 中心街全体33%増
		グッドデザイン賞受賞(八戸レビュー)
2013年	3月	来館者数1,900,046人(3月31日)
	5月	来館者数200万人達成(5月15日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前101%増 中心街全体24%増
		グッドデザイン賞受賞(市民が地域づくりに参画できる仕組みプロジェクト)
		第33回東北建築賞受賞
		「日本建築家協会優秀建築選」100選受賞
2014年	3月	来館者数2,863,293人(3月31日)
		文化庁長官表彰受賞(文化芸術創造都市部門)
	5月	来館者数300万人達成(5月30日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前109%増 中心街全体35%増
	11月	第43回デーリー東北賞
2015年	3月	来館者数3,846,458人(3月31日)
	6月	来館者数400万人達成(6月2日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前82%増 中心街全体19%増
2016年	3月	来館者数4,791,861人(3月31日)
	6月	来館者数500万人達成(6月28日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前60%増 中心街全体9%増
2017年	3月	来館者数5,735,200人(3月31日)



2016.4－2017.3
八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

発行日 2017年11月
発 行 八戸市【八戸ポータルミュージアム】
〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1
TEL 0178-22-8228
FAX 0178-22-8808
<http://hacchi.jp>
